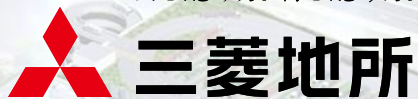


人を、想う力。街を、想う力。



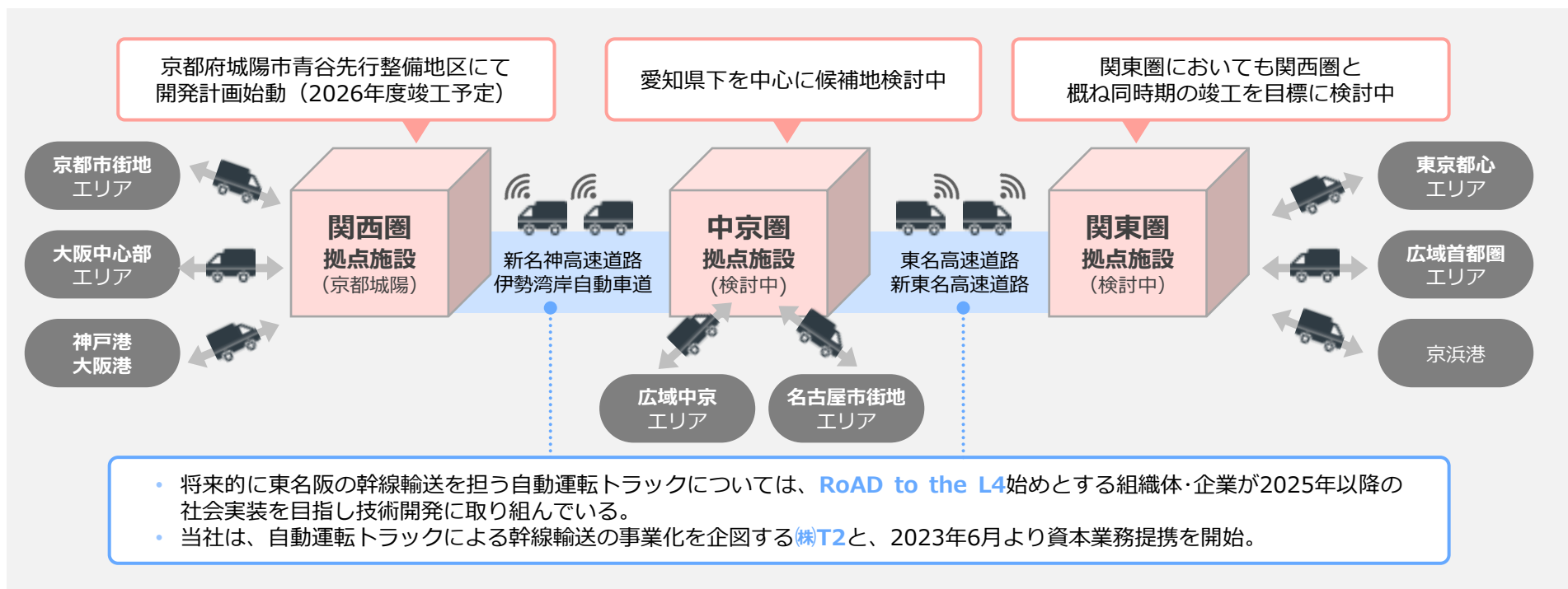
# 基幹物流構想、及び 構想実現に向けた要望について

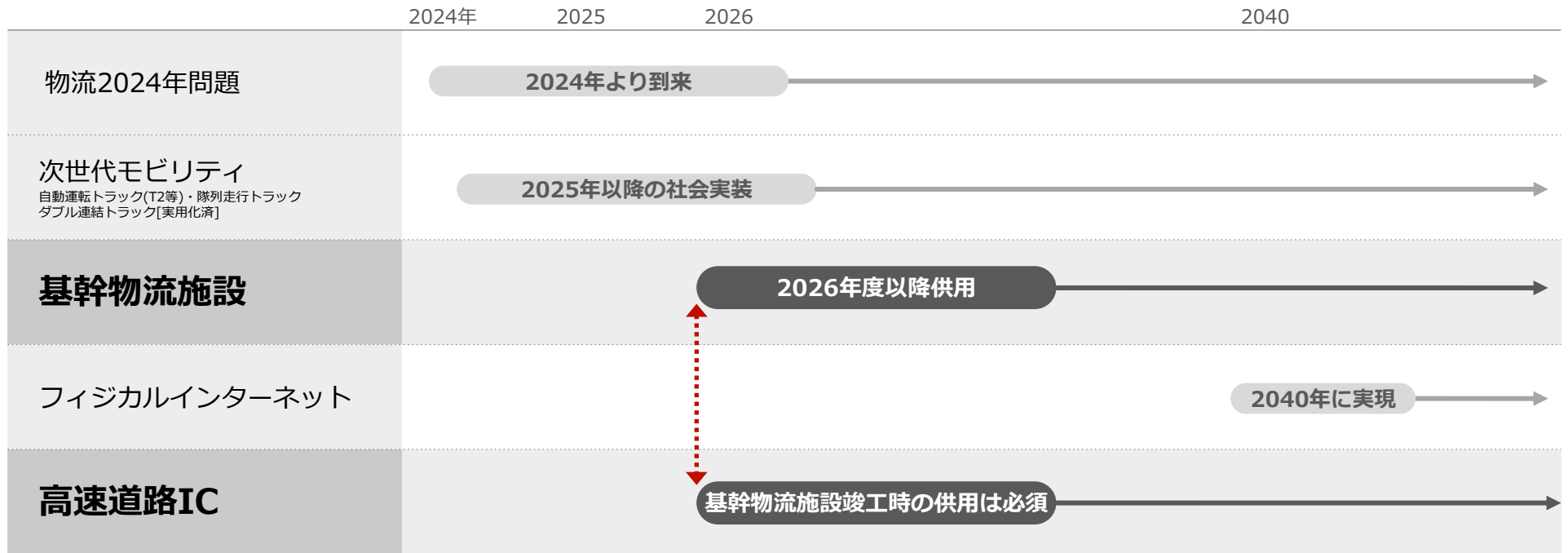
2023年10月4日  
三菱地所株式会社

## “社会課題解決型 次世代基幹物流施設”

日本の幹線輸送を担う広域物流・地域物流の“結節点”として関東圏・関西圏・中京圏に高速道路IC直結型の拠点を整備

- 長距離幹線輸送を中心とした“深刻なトラックドライバー不足”への対応、Eコマース市場の急拡大による“物流ニーズの多様化・高度化”への対応“地球環境の持続可能性を確保”するための物流ネットワークの構築等の物流業界に蔓延る課題解決は急務である。
- 基幹物流施設においては、より“安全”かつ円滑で“環境にもやさしい道路交通社会”の実現、より多くの人・モノが“快適で効率的に移動できる社会”の実現、日本の経済成長と国民生活を持続的に支える“強い物流”の実現をビジョンに掲げている。
- 高速道路IC直結型とすることで、ダブル連結トラック・隊列走行トラック・自動運転トラック等の次世代モビリティの受け入れに対応した、次世代型基幹物流施設を整備することを通じて、トラックドライバー不足の解消等に貢献し、国が推進する「ホワイト物流」を後押ししていく。
- 共同輸配送の拠点・フィジカルインターネットにおけるノードになるような施設整備を目指す。





》》 早期の基幹物流構想実現、ひいては物流危機回避に向けて、次世代モビリティが往来する高速道路IC等関連インフラの円滑な整備が必須



## 2024年度以降に開通予定の新名神高速道路・宇治田原ICの隣接地にて開発計画始動

2022/2/3 プレスリリース

人を、想う力。街を、想う力。  
 三菱地所  
報道関係各位

2022年2月3日

三菱地所株式会社

### ～完全自動運転トラックなど次世代モビリティ受け入れを視野に入れた中核物流拠点～ 日本初、高速道路 IC 直結「次世代基幹物流施設」開発計画始動

三菱地所株式会社はこのほど、京都府城陽市東部丘陵地青谷先行整備地区（A街区）において、新しい物流システムに対応した、高速道路 IC に直結した「次世代基幹物流施設」の開発計画（以下、本計画）を開始します。本計画は当社が施行予定者として土地区画整理事業を実施の上、2025年に新築建物着工し、2026年に竣工を迎える予定で、高速道路 IC に直結した専用ランプウェイの整備を行う物流施設の開発は、本計画が日本初となります。

当社は、関東圏においても本計画同様の次世代のモビリティに対応した基幹物流施設の開発計画について検討を進めています。関東圏と関西圏の両方で基幹物流施設の整備を進め、三大都市圏を結ぶ物流ネットワークの自動化・省人化対応を推進してまいります。



▲京都府城陽市東部丘陵地青谷先行整備地区  
高速道路 IC 直結型次世代基幹物流施設（完成予想イメージ）

現在 EC の拡大等により、物流は社会インフラとしての重要性を増していますが、近年増加し続ける貨物輸送需要や深刻なトラックドライバー不足が喫緊の社会課題となっています。こうした課題解決の取り組みの一環として、物流ネットワークの安定性・効率性向上を目的に、行政等によって高速道路におけるダブル連結トラックの利用促進や隊列走行トラックの社会実装に向けた新しい物流システムの構築検討が進められました。

本計画は、三大都市圏をつなぐ物流網である新名神高速道路の宇治田原 IC（仮称）より、基幹物流施設に直結した専用ランプウェイを設けることで、完全自動運転トラックや後続車無人隊列走行の受

#### 物件概要

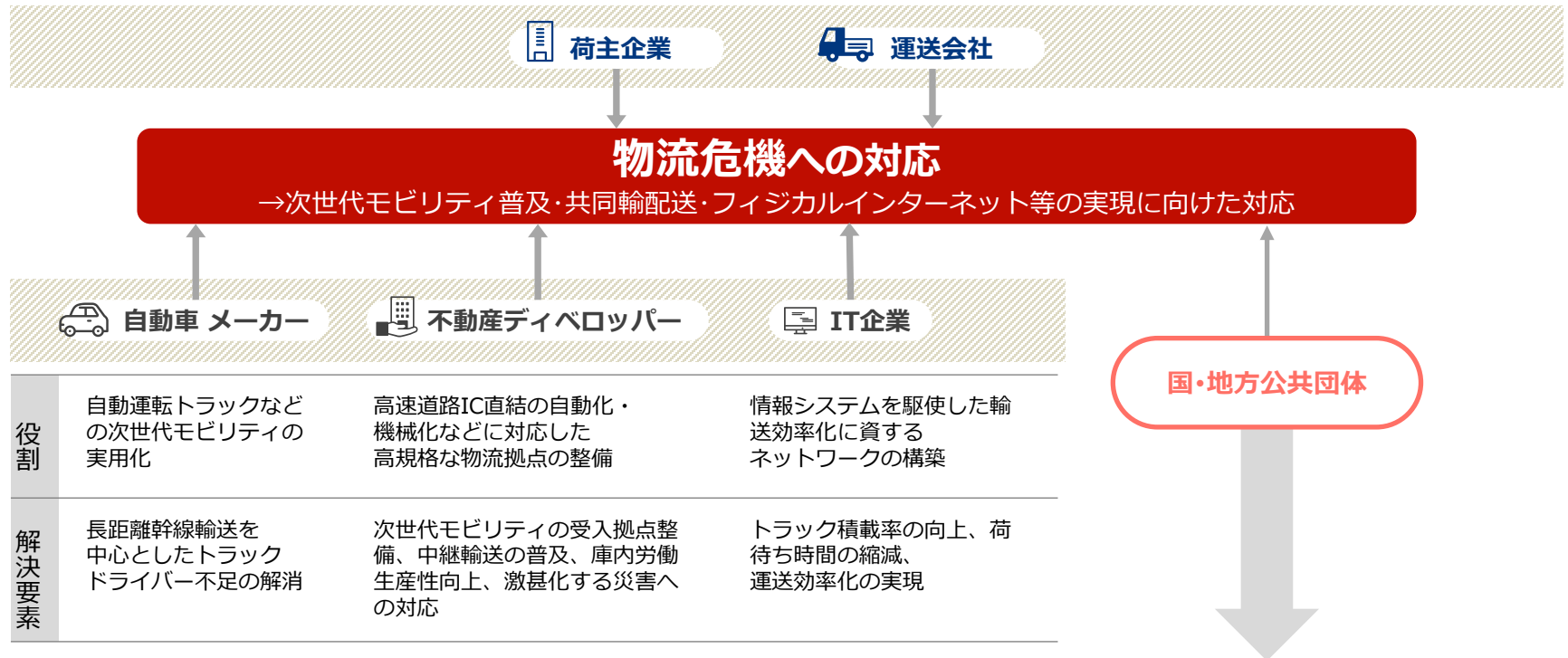
所在地	京都府城陽市東部丘陵地青谷先行整備地区
敷地面積	約119,000㎡（約36,000坪）
延床面積	約277,000㎡（約83,800坪）



## 1 基幹物流施設整備に係る要望

- ① 次世代モビリティの往来が想定される高速道路、及び基幹物流施設と高速道路ICを直結する専用ランプウェイの円滑な整備に係る支援
- ② 基幹物流施設の開発を後押しする都市計画等の策定及び改定・各種許認可（市街化調整区域・保安林区域・農用地区域等に於ける許認可）取得に係る支援

## 公民一体となった“物流危機”回避に向けた協力体制の構築



## 2 基幹物流構想実現に係る要望

### ① 物流危機回避に向けた各プレイヤーのとりまとめ

## 1. 基幹物流施設整備

### に係る要望

- ① 次世代モビリティの往来が想定される高速道路、及び基幹物流施設と高速道路ICを直結する専用ランプウェイの円滑な整備に係る支援
- ② 基幹物流施設の開発を後押しする都市計画等の策定及び改定・各種許認可（市街化調整区域・保安林区域・農用地区域等に於ける許認可）取得に係る支援

## 2. 基幹物流構想実現

### に係る要望

- ① 物流危機回避に向けた各プレイヤーのとりまとめ
- ② 幹線輸送における自動運転トラックの普及に係る支援

- 自動運転車両構築・台数増への予算支援
- 自動運転車の遠隔監視のための高速道路近傍の通信設備の充実化
- 自動運転車の実証・事業開始フェーズでの事故時の支援に関する制度整備への着手

- ③ フィジカルインターネットを担う各プレイヤーが参加し易い仕組みの構築支援

フィジカルインターネット実現に向けた第一歩となる共同輸配送の促進支援